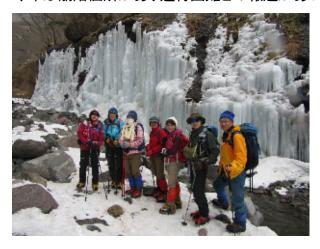
雲竜渓谷山行報告

【山 行 日】2019年 2月 6日(水) 曇り時々雨 【集 合】栃木市運動公園 P AM 6:00 【費 用】マイカー1台 : 1100円 【メンバー】CL:鈴木ユ 石川、伊藤、大西、岡、成田、福島、渡辺

【コースタイム】栃木市運動公園 P8:00=林道ゲート P7:10/7:30~稲荷川展望台 9:00/9:10~ 洞門岩 9:30~雲竜渓谷入口 10:00/10:10~ 雲竜渓谷 10:30/10:50~雲竜渓谷入口 11:10~ 洞門岩 11:30/12:00~林道ゲート P13:00/13:10= 栃木市運動公園 P14:10



今年もアンケートで雲竜渓谷に行きたいとリクエストがあり、いつものように平日山行で計画した。今年は崩落個所があり通行困難との報道があったが、通れなかったら林道を行けば良いと思い出



かける。東北道から日光宇都宮道を進み、日光 で降りて市内を通り林道ゲートの駐車場に着く。 数台置ける駐車場はすでに満車で、手前の駐車 スペースに車を止める。天気予報はあまり良くな く、昼ごろから一時雨の予報になっていた。準備 を整えストレッチを済ませたら出発する。

ゲート脇から林道を進み、九十九折れに登って 行く。雪はほとんどないが、所々融けた雪が凍っ ているので氷に乗らないように注意して歩く。

曇っているが時折薄日が差し、前方の赤薙山は

ハッキリと山頂が見えていた。同じような景色を見ながらダラダラと登り、飽きたころ稲荷川展望台に着く。

休憩を取り衣服調整をして、赤薙山と女峰山の景色を楽しむ。ここからさらに林道を登り、 工事用の飯場がある広場が洞門岩入口になる。右側に降りて行き河原を進むと、ロープで道が規制されロープの間を進む。大きな砂防堰堤の間を通り、川を渡渉して進むと崖になり先に進めない。左右の崖を見回すと右岸の崖にピンクのリボンがいくつか見える。リボンに向かって急な斜面を登って行くが、その先は急な崖になっていて登れそうにない。



諦めて河原に降り、林道まで戻って林道を進むことにする。

この先の林道は雪が中途半端に残り、日向は雪が無く北側の日陰は雪が残っている。

雪が凍っていて滑りやすく、なるべく凍った雪の上は歩かないようにして登って行く。途中の分岐を 右に降りて行き、平坦な広場の雲竜渓谷入口に着きここでアイゼンを付ける。急な階段を降りて河



原まで降り、何回か渡渉して進むと右側に大きな氷壁が現れる。初めての方達は氷の芸術に 感動し、「ウワ~~凄い」と歓声を上げる。

氷壁の前で記念写真を撮りさらに核心部へ進む。 渓谷の奥に進むと巨大なツララが岩壁に下がり、 自然が創り出す芸術には皆さん感動されていた。 しばらく氷の芸術を楽しみ、大福をいただきなが らのんびりする。しかし渓谷に着いた頃から小 雨が落ちて来て、視界も悪くなってきた。

この上の雲竜瀑まで登る予定だったが、天気が

悪くなってきたのでここから戻ることにする。 来た道を戻り渓谷入口の広場でアイゼンを外 す。林道の下りは雪が融けて流れた水が凍り、 アスファルトの上に薄氷が付いている。

これに乗ると100%滑って転んでしまう。

皆さんに注意しながら我輩も薄氷に乗り、スッテンコロリンとコケてしまった。慎重に下って行き洞門岩でランチタイムとする。飯場の脇のテーブルを借りてお湯を沸かし、お汁粉を作ってカップ麺と一緒にいただいた。風は無いが小雪がちらつき寒いので、温かいカップ麺とお汁



粉は最高の御馳走だった。ランチが済んだら林道をひたすら下り、ゲートの駐車場を目指す。 駐車場に着き、靴を履き替えたら車に乗り帰路につく。

途中、大谷 PA に寄ってお土産を買い、予定よりも早く栃木市運動公園に帰着した。



